

令和3年度 4月の補導活動

佐久市少年センター

1	街頭補導実施回数	18回
2	延べ従事補導委員数	32人
3	相談件数	0件
4	補導した少年数	0人
5	声かけ人数	252人



4月の補導日誌から

4月2日（金）

専門補導委員 記

巡回経路 三河田方面 → 中桜井公会場広場 → 岸野児童館 → 泉児童館
補導の様子

三河田方面を補導中に、自転車で右側通行している女子中学生2人組に声をかけた。「右側を通行すると危ないよ」という声かけに、聞き入れた様子でうなずくと自転車を降りて歩き始めた。岸野児童館ではちょうどお迎えに来た新1年生のお母さんと一緒になった。まだ2日目で心配らしく、児童館での我が子の様子を尋ねていた。子どもが楽しそうに過ごしていることを聞くと、安心した笑顔が見られた。例年入学したほとんどの1年生は児童館を利用すると伺った。泉児童館では、男子児童が元気いっぱいに遊んでいた。学校が休みの日は、家から自転車や徒歩で児童館へ通って来る児童も多いようだ。

4月5日（月）

専門補導委員 記

巡回経路 取出町ふれあい公園 → 下の宮児童公園 → ふるさとの森公園 → 成知公園
補導の様子

白田の下の宮児童公園では、新4年生の男児2人がゲーム機で遊んでいた。中込の成知公園は、新3年生の女児3人がブランコ等で楽しく遊んでいた。翌日は入学式との返答があり、学校は楽しいと各々笑顔で話してくれた。低学年の児童と園児を連れて遊んでいた父親に伺ったところ、他県からの移住という事情を話され、いつもは岩村田の市民交流ひろばで遊んでいるが、成知公園は遊具やSLがあるので、子どもが来たいと望んだとのこと。



4月6日（火）

専門補導委員 記

巡回経路 田口児童館、青沼児童館、公園（佐太夫町・横町・水上・五稜郭・下越）
補導の様子

本日、田口・青沼小学校で入学式・始業式が行われたとのこと。田口児童館では、式が終了後帰宅せずそのまま児童館に来た児童と一旦帰宅してから来館した児童がいて、計30名程が利用したとのこと。訪問時には、20数名が在館して仲良く遊んでいた。青沼児童館は20名程が利用、訪問時10数名が在館して、ほとんど静かに読書をしていた。両館とも本日入学した新1年生の利用はなく、明日以降から利用するとのことであった。児童館訪問の往復時に付近の公園の様

子を確認した。五稜郭公園には、保育園児とその保護者が数組いたが、他の公園は誰もいなかった。

4月7日（水）

専門補導委員 記

巡回経路 旧志賀小学校グラウンド → 紅雲台区内公園 → 鼻顔公園
→ ねむのき公園 → 枇杷坂公園 → 岩村田駅 → 若宮公園

補導の様子

旧志賀小学校グラウンドは、ユニホーム姿の少年たちが野球の練習を始めていた。ねむのき公園では、遊んでいた小・中学生と学校の様子などについて会話することができた。砂場や芝生でも多くの親子連れが公園を訪れて穏やかな夕刻のひと時を過ごしていた。枇杷坂公園で高校1年生女子の2人から高校の様子を聞くことができた。若宮公園では小学校4～6年の児童が遊んでいた。ゲーム機を手放さない子どももいたが、元気な様子が見られた。

4月8日（木）

専門補導委員 記

巡回経路 近津南公園 → 学童保育 → 佐久平浅間児童館 → ねむのき公園
→ やまぼうし公園 → ミレニアムパーク → 鼻顔公園
→ 駒場公園 → 宇とう公園

補導の様子

穏やかに晴れた桜満開のもと、やまぼうし公園や鼻顔公園では、花見や遊具を楽しむ親子連れでにぎわっていた。4月にオープンした民間の学童保育を訪問すると、室長さんが施設等を丁寧に案内してくれた。英会話、ピアノ、そろばん等の教室が1つの建物の中にあるので、利用する保護者のニーズをうまく捉えているなあと感じた。また、児童数が増加している地域でもあるので利用者はかなりいるようである。80名ぐらいまでの受け入れを考えているようだ。佐久平浅間児童館では、新しく就任した館長さんからお話をうかがった。多い時には200名もの児童を受け入れるということで、気を引き締めて運営しようとする意気込みが感じられるお話であった。

4月12日（月）

専門補導委員 記

巡回経路 前山地区運動公園 → 大沢地区グラウンド → 稲荷山公園
→ 下の宮児童公園 → 五稜郭公園 → 龍岡城駅

補導の様子



稲荷山公園では、新しい遊具で4人の小学生が遊んでいた。子どもを見守っていた支援員の方に伺うと、小学生は民間の「放課後等デイサービス」の子どもたちとのことでした。下の宮児童公園では小学生15人ほどが4～6年生を中心に女子は鬼ごっこ、男子はゲームにと、思い思いに遊んでいた。龍岡城駅では、佐久平総合技術高校臼田キャンパスの生徒が列車待ちをしていた。制服も真新しい1年生が大勢いた。

4月13日（火）

専門補導委員 記

巡回経路 成知公園 → 中込児童館 → 学童保育 → 佐太夫町公園

補導の様子

成知公園には、母親と幼児2名が楽しそうにブランコで遊んでいた。中込児

童館で職員に伺うと「中込小の新生は 40 数名、今日はそのうちの約半数の 20 数名が来館。2～6 年生を含めると約 40 名が来ている」とのこと。移転した学童保育を訪問して職員に伺うと「昨日、旧建物から移転した。建物の床面積は、以前より 2 倍位広くなった。利用申し込み児童は 30 名、うち新生は 8 名」とのこと。児童は、移転したばかりなので、荷物の置き場所など施設利用の要領が分からず戸惑っている感じであった。職員が横断歩道脇に立って交通事故防止に配慮していた。また、「将来的には敷地の周囲にフェンスを設置するなどの安全対策をする」ともおっしゃっていた。

4月14日(水)

専門補導委員 記

巡回経路 布施温泉公園 → 望月児童館 → 若駒児童公園 → 佐久良公園
→ 望月バスターミナル

補導の様子

望月児童館は、40 数名の児童が来館し、館内・館外でボール遊び・追いかっこ・かるた取り等をして元気よく、仲良く過ごしていた。若駒児童公園を訪問、古かった遊具(滑り台)が新しいものになっていった。公園を後にしようとした時、女児 2 名が来園、声かけすると近くに住む 5 年生と 2 年生の姉妹とのこと。新しくなった遊具のことについて尋ねると「気持ちいい。うれしい」とはきはき答えた。また、『いかのおすし』について聞くと、的確な答えをした。布施温泉公園・佐久良公園・望月バスターミナルには誰もいなかった。

4月16日(金)

専門補導委員 記

巡回経路 市民交流ひろば → ゆりのき公園 → 枇杷坂公園 → 長土呂地籍の通学路
→ 赤岩公会場 → 上塚原地区児童遊園地 → 一本柳公園

補導の様子

市民交流ひろばでは、2 組の計 5 人の園児と保護者が遊んでいた。子どもの人数が急増している長土呂地域の住宅街の通学路の巡回をした。下校中の大勢の小学生と行き会ったが、集まって遊ぶ姿は見られなかった。赤岩公会場では、2 人の中学生が画材を広げて熱心に会話していた。美術部とパソコン部に所属しているとのこと。一本柳公園は、中学 1 年生の女子 2 人と小学生男子 1 人が駆け回って仲良く遊んでいた。

4月19日(月)

専門補導委員 記

巡回経路 田口方面通学路巡回 → 五稜郭公園 → 平賀新町公園

補導の様子

家庭訪問期間のため、小学校の下校時刻が早く、通学路では田口小学校の子どもたちと大勢すれちがった。皆きちんと右側を歩いており、危険と思われるようなことはなかった。五稜郭公園では、保育園へお迎えの保護者が公園で子どもたちを遊ばせていた。小学生も交じって追いかっこをして歓声を上げていた。保護者に話しかけると以前の知り合いということが分かり、地域や公園での子どもたちの様子を打ち解けて話してくれた。平賀新町公園では、3 人の児童が遊んでいたが、様子が気になったので「どうしたの?」と話しかけたところ、遊んでいたブーメランが高い木の枝に引っかかって取れなくなっていた。時間は費やしたが何とか取ってあげ



ると、何ともいえない笑顔でお礼を言うしぐさにすがすがしさを感じた。

4月20日（火）

専門補導委員 記

巡回経路 小田井児童館 → 平根児童館 → 紅雲台区内公園 → 東児童館
→ 新子田八幡神社

補導の様子

小田井児童館には1年生20名・2年生4名が、平根児童館には1年生12名・2年生12名・3年生7名が、東児童館には1年生15名・2年生11名・高学年生2名が来館していた。どの児童館も下校になった1・2年生がほとんどで、高学年の児童はこれから来館予定とのこと。小田井児童館は全員が室内で活動していたが、平根・東児童館では、多くの児童が好天のもと、屋外で大声をあげて楽しそうに遊んでいた。紅雲台団地内の公園に、1人の男児がいたので声かけをした。友達と公園で遊ぶ約束をしてあり待っているとのことだった。新子田八幡神社には誰もいなかった。

4月21日（水）

専門補導委員 記

巡回経路 浅科図書館 → あさしな児童館 → 庄ノ上公園 → 十二川原公園
→ 中佐都駅周辺 → 近津南公園

補導の様子

浅科図書館では、20人程の利用者がいた。カウンターで学校から帰ったばかりと思われる小学校3年生が祖母と弟と一緒に10冊の本を借りていた。帰り際に館職員と私に丁寧なあいさつをしてくれた。あさしな児童館では、庭で約10人の男女児童がサッカーをして駆け回っていた。近津南公園では、



3人の園児が父親と遊具で遊ぶ姿が見られた。

4月22日（木）

専門補導委員 記

巡回経路 城山公園 → 原公園 → 中嶋公園 → 臼田児童館
→ 臼田小学校通学路 → 切原児童館 → 龍岡城駅周辺

補導の様子

帰宅途上の中学生3人に話を聞くと、「家庭訪問週間です」とのこと。終始笑顔で応対してくれたのが印象的である。臼田児童館では館を巣立った中学生のボランティアの生徒が手伝いに来てくれるとのこと。異年齢の関係づくりが小学生にも中学生にも成長のステップになることと理解した。切原児童館は少数の利用であるが、子どもたちはにこやかなあいさつができ、館の中と庭で楽しく遊んでいた。龍岡城駅周辺へ移動して駅を利用する高校生の様子を見守った。ホームには生徒が大勢いたが、多くがスマホを見ているのでとても静かだった。駅駐輪場では学校ステッカーが貼付されていない自転車を散見した。

4月23日（金）

専門補導委員 記

巡回経路 一本柳公園 → 近津南公園 → 中佐都児童館 → 高瀬児童館
→ 市民交流ひろば → 若宮公園

補導の様子

一本柳公園には人影なし。近津南公園には、未就学児と小学生10名位が滑り台などで遊び、その様子を子どもの保護者や祖母が見守っていた。中佐都児童

館は47名、高瀬児童館は1年生のみ7名の児童が来館、館の内外で思い思いに勉強したり遊んだりしていた。市民交流ひろばの東屋で4名の女子高校生がジュースを飲みながらドーナツを食べていた。声かけすると、仲良しグループの高校3年生で高校最後の競歩大会が終わり、おしゃべり中とのこと。今日は、いつもより多くの小・中・高校生と行き合うことができ、大勢の児童生徒と話げできた。子ども達に聞いたところ、小中学校で参観日や家庭訪問、競歩大会開催の高校もあり、いつもよりも早い下校となったとのこと。



4月26日(月)

専門補導委員 記

巡回経路 王城公園 → 鼻顔公園 → 岩村田公園 → 学童保育
→ 岩村田児童館 → 枇杷坂公園 → ねむのき公園

補導の様子

王城公園、岩村田公園、枇杷坂公園は、利用者はいなかったが、草刈がされており、きちんと整備されている様子うかがえた。学童保育では、子どもたちが人懐こくあいさつしてくれた。指導員の方からお話をうかがうと、今年は16名からのスタートで8割は女の子だという。子どもたちは、隣の岩村田公園や小学校の校庭で思う存分体を動かしたり、室内で勉強したりと有意義に時間を過ごしているようだ。岩村田児童館では、80名の児童が利用していた。これからまだ増える見込みだという。ねむのき公園では、小学生の男児2名が敷物を敷いてキャンプのまねごとをして遊んでいた。ベンチにいた学校帰りの女子中学生2名は、部活動の事を楽しそうに話してくれた。

4月27日(火)

専門補導委員 記

巡回経路 城山公園 → 原公園 → 野沢児童館 → 下越児童館 → 下越公園
→ 五稜郭公園 → 佐久城山児童館 → 佐久総合運動公園

補導の様子

城山公園・原公園・下越公園の利用者はいなかった。野沢児童館を訪問したところ、来館児童のほとんどが1年生であった。この後2年生以上が来館するとのこと。下越児童館は訪問時、来館児童はいなかったが、通常は5～7名が来館しているとのこと。五稜郭公園には、保護者が見守る中、保育園児が遊んでいた。佐久城山児童館は、大勢の児童が屋外でボール遊びや水遊び、屋内でピンポンや一輪車等で遊んでいた。佐久総合運動公園陸上競技場には市内の数校の高校生数十名が陸上競技場で練習中。生徒と行き合うと「こんにちは。」「こんにちは。」と次々とさわやかなあいさつをいただいた。

4月28日(水)

専門補導委員 記

巡回経路 仙祿湖公園 → 西屋敷区グラウンド → アミューズメント施設
→ やまぼうし公園 → ねむの木公園 → 市民交流ひろば
→ ミレニアムパーク → 一本柳公園

補導の様子

浅間地区内の公園等の街頭補導巡回を実施した。仙祿湖公園・西屋敷区グラウンド・やまぼうし公園・一本柳公園には人影はなかった。ねむの木公園には、低学年の児童と思われる男女数人が滑り台等で遊んでいた。市民交流ひろば内

の遊具や芝生で保護者同伴の園児や児童が遊んでいた。ミレニアムパークのプレイサークルでは、成人を含め数人の男性がバスケットボールやスケートボードをやっていた。アミューズメント施設を訪問、1階のゲームコーナーのリニューアル、カラオケルームの閉鎖を確認した。

4月30日（金）

専門補導委員 記

巡回経路 橋場公園 → 鍛冶屋公園 → 高柳公園 → 稲荷山公園
→ 臼田図書館 → 下越公園 → 五稜郭公園 → アヴェニュー区公園
→ 佐久総合運動公園

補導の様子

橋場公園、鍛冶屋公園、高柳公園、稲荷山公園を巡回した。稲荷山公園には、10人程の親子連れが新装された遊具で遊んでいた。コスモタワー内にも子どもの姿が見られた。臼田図書館は午後4時閉館となっていた。下越公園には親子連れが見え、五稜郭公園には小学生と保護者の姿が見えた。アヴェニュー区の複数の公園を見たが、人影はなかった。佐久総合運動公園では陸上競技場に大勢の生徒が練習をしていた。

◀4月の補導を終わって。 専門補導委員▶

4月15日 佐久市役所議会棟全員協議会室において、令和3年度第1回佐久市少年センター補導委員協議会理事会が開催されました。理事会では、令和2年度少年センター補導活動事業報告、令和3年度少年センター補導活動事業計画（案）について協議が行われたほか、補導活動の内容や意義、また、夏季における夜間の街頭補導活動の実施についての協議も行われました。その結果、例年開催されている祇園や花火大会等の祭礼における街頭補導活動を実施するほか、7・8月の2ヶ月間、浅間・東地区の補導委員の皆様には夜間の街頭補導に従事していただく予定であります。日程等につきましては、日程表をお送りいたしますが、変更になる場合は追って通知します。

さて、佐久圏域が長野県新型コロナウイルス感染症・感染警戒レベルがレベル4という状態ではありますが、感染防止対策を充分とりながら必要な事業は進めてまいりたいと思います。当面の予定は、以下のようになっております。

- ・令和3年度佐久市少年センター補導委員協議会 総会（5月14日）書面決議
- ・令和3年度佐久市少年センター補導委員協議会 研修会（5月14日）予定

研修会は2部に分けて以下のように行います。

第1部 13:30～14:30 1～8班、19班、20班

第2部 15:00～16:00 9～12班、13～16班、17、18班

- ・令和3年度第2回佐久市少年センター補導委員協議会理事会（6月3日）予定

6月から街頭補導活動が始まりますが、今後、新型コロナウイルス感染症の状況等により、現在予定されております活動等が中止や延期等になる場合があります。その際には、事前にご連絡をいたしますのでよろしくお願いいたします。

希望に胸を膨らませて入学・入園、あるいは新学年に進級した子どもたちにとって、制約の多い生活は、とても窮屈でストレスもたまっている子どもが多いのではないかと思います。一刻も早い新型コロナウイルス感染症の収束を願ってやみません。皆さまもご自愛ください。